

防災要員の教育現状（山口県周南市）

石油コンビナート等特別防災区域では、災害発生の要因となる危険な物質が大量に扱われており、災害が発生した場合には、被害が工場敷地内にとどまらず、大規模化することが想定されます。

平成23年11月13日、山口県周南市の東ソー（株）南陽事業所で重大事故が発生した事例では、発災当初は事業所側も混乱しており、消火方針決定に必要な情報収集や状況把握がうまくできませんでした。

当初、消火方法は「泡消火」を検討しましたが、結果としては、燃え尽きさせる「全量燃焼」が最善の安全対策と判断し、実行しました。

幸いにも、二次爆発もなく、環境への影響も最小限にとどめることができたが、大量の冷却排水処理に必要な土嚢構築等の対策が遅れ、隣接住民の屋内退避を要請する事態となりました。

そのような事態を招いた理由はいくつかあげられますが、その一つに、自衛消防組織との連携がうまくできなかったことがあります。

それまでは、事業所の自衛防災組織と周南市消防が関わる時といえば、防災訓練や査察などの点検、指導が主なものでした。

また、自衛消防組織も事業所ごとに、教育・訓練を行っているため、やり方やレベルも様々で連携しづらい事情もありました。

しかし、この事故を契機に防災活動において官民の情報交換や事業所自衛防災組織との連携が不可欠であるという共通認識を持つことができました。

また、自衛防災組織の技能コンテストができたことで、お互いに共通の目標や訓練する機会が増え、お互いの技術を発表し、理解する機会ともなっています。

今回、防災要員の共通テキストを検討するという一方で、防災要員の一定の基準が示されれば、お互いに共通認識を持って活動ができると考えています。

1 周南市消防本部管内の事業所の取り組みについて

(1) 操法訓練について

各部署（班）単位において、指導者（消防学校で教育を受けた者など）が中心となって、消防ホースの延長方法、収納方法などの操法訓練を実施し、ホース、吸管、管そうなどの役割や使用上の注意事項を理解させる。

(2) 防災資機材取扱い訓練について

各部署（班）単位において、指導者が中心となって、耐熱服、空気呼吸器などの資機材の取扱い訓練を実施し、各資機材の役割や使用上の注意事項を理解させる。

事業所独自の資機材取扱い上の教養資料（写真入りの取り扱い説明書のようなもの）を使用して、反復訓練を実施する。

消防車の取扱い（水利部署、吸水、送水）訓練を実施する。

機関運用の反復訓練を実施する。

(3) 図上シミュレーション訓練について

事業所内の災害場所、想定を変えながら図上シミュレーション訓練を実施する。

(4) 周南地区コンビナート保安防災協議会（会員事業所）が会場する防災競技大会について

周南地区コンビナート保安防災競技会の事業計画に基づき、保護具等の適正使用と負傷者の救出競技を行うことにより、救急技能の習熟と防災意識の高揚を図り、もって地域防災に資することを目的としている。

平成27年度に実施した大会の想定は、「高圧ガス等の有毒ガスが漏れたとの想定により、空気呼吸器の点検、着装要領、負傷者の搬送などの手順について、時間、安全、正確な動きを審査する」というものであった。

実災害に対応するため、関係機関が連携した訓練も必要であることから、消防署もこの訓練において、化学災害対応資機材の展示を行うことを目的として、化学防護服（レベルB）及び呼吸器の着装要領から、汚染された衣服の脱衣について展示を行った。

また、コンビナート災害が発生した場合の協力関係機関（警察、海上保安庁、市、消防）が参観している。（別添写真参照）

(5) 防火指導及び救急指導について

消防職員による防火指導では、身近な消防用設備（消火器）の取扱い訓練

消防職員による救急指導では、心肺蘇生法、搬送方法、AED取扱いを実施

(6) コンビナート共同防災訓練について

周南地区コンビナート保安防災協議会の事業計画に基づき実施するもので、防災体制の充実と強化及び保安意識の高揚を図ることを目的としている。

平成27年度に実施した訓練想定は、「伊予灘沖を震源とする地震が発生し、〇〇工場内の地震計においては震度5強を観測した。地震によりLPG製造施設ベーパーライザー低圧側配管が破損、火災が発生した。またCO工場A重油タンクの払出配管が破損、A重油が漏洩、工場建屋外に流出した」というものであった。

陸上においては、対策本部、現場指揮所、現地連絡室などで発災から初動対応、防災活動について詳しく情報を求め、被害の拡大防止の対応について協議を行い、海上については、徳山海上保安部の全面バックアップにより、防除活動（オイルフェンス展張、油回収、油処理剤の散布）を行った。

（別添写真参照）

防災競技大会の状況

1 開会式



2 競技中（呼吸器装着）



3 競技中（負傷者搬送）



4 展示（化学防護服着装）



4 展示（脱衣）



5 閉会式



共同防災訓練の状況



訓練開始



冷却散水



土嚢構築



情報提供



調整本部



現地連絡室



海保ヘリ（飛び魚）



避難広報